

18

第13回整形外科・リウマチ懇話会IN九沖

Newsletter

発行責任者

実行委員長 家入雄太

2025年6月27日

開催日：2025年6月20日（金）13:30～21日（土）13:00

会場：JR HAKATA CITY 10階/9階会議室

テーマ：「多職種で進める地域の健康づくり」

大成功に終わった第13回整形外科・リウマチ懇話会
ご参加いただき、またご協力いただいた皆様に
心より感謝申し上げます。



記念講演

「地域に広げるヘルスプロモーション～地域
の力とSDHの視点～」

講師：福岡医療団 舟越光彦理事長

治療とヘルスプロモーションの組み合わせ、
SDH（健康の社会的決定要因）



の考慮、地域活動への積極的参加の重要性を強調し、地域
連携の意義を再認識する機会となりました。

指定報告(タイトル)

- ①「令和6年能登半島地震 被災診療所の経験と
関節リウマチ患者の現状」
- ②「フランス研修報告」
- ③「理学療法士が地域の健康づくりに参加して
みて」
- ④「北九州市地域リハビリテーション支援事業
協力機関としての健康サロン活動について」
- ⑤「二次性骨折予防の取り組み」

多職種グループワーク

ICF（国際生活機能分類）の視点から多
職種の力が必要である4症例について地
域医療の課題抽出と解決策を活発に議
論。各職種の専門性を発揮しました。



本懇話会を通して、地域における多職種連携の重要性が改めて
確認され、具体的な連携の形や課題解決に向けた活発な議論が
交わされました。89名の参加者の中には、研修医が13名、医
学生が6名が含まれており、将来の民医連医療を担う若手にと
って、多職種連携の現場を実際に体験し、将来について考える
貴重な機会となりました

分科会 合計31演題

第一分科会: 整形外科治療の最新情報、周
術期管理における看護師の役割。
第二分科会: リウマチ治療、診断から生活
支援における看護師・理学療法士の役割。
第三分科会: 多職種協同治療、リハビリテ
ーションの具体例、チーム医療での連携。
各分科会での知見は、参加者の専門性向上
と地域でのアクションプランに繋がる示唆
に富んでいました。



《お問合せ先》

第13回整形外科・リウマチ懇話会事務局 福岡民医連事務局 大賀九三子

(TEL)092-483-0431 (FAX)092-483-0435 E-Mail: seikei-riumati@f-kenren.or.jp